

久留米大学バイオ統計センター

公開セミナー

対面形式
&
WEB配信

古川 恭治

久留米大学 バイオ統計センター

生存時間分析における未観測不均一性 ～ポアソン混合効果モデルによるアプローチ～

イベント発生ハザードを区分定数関数とすることで、ポアソン回帰によって生存時間分析を行うことができる。このアプローチは、Cox比例ハザード回帰などと比べて一般的ではないものの、一般化線形モデルの枠組みで、より柔軟なハザード回帰モデリングが可能となることから、疫学コホート研究におけるがんリスク解析などでは有用な解析手法となっている。本発表では、ポアソン回帰による生存時間分析手法を定式化し、時間スケール区分化の影響、時間依存共変量やランダム効果を含む場合への拡張について解説する。次に、影響力のある因子を含まない解析で生じる生存時間分析特有の選択バイアスの問題に焦点を当て、未観測因子による不均一性をランダム効果(frailty)として含めたポアソン混合効果モデルを構築する。シミュレーションによってCox回帰など他手法との比較を行うとともに、放射線疫学がんリスク評価への適用例を紹介し、ポアソン生存時間回帰の適用が最も効果的とされる状況や今後の拡張について議論する。

2022年6月30日 (木) 18:00-19:30

久留米大学 バイオ統計センター コンピュータ室 (医学部B棟7階)

WEB
申込方法

URLまたはQRコードより前日10時までにお申込み下さい

https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZckc-6srDMpHdB-2oLmnrePXk3bgf_RpfZT

お問い合わせ

✉ biostat_seminar@kurume-u.ac.jp

